

角田出張所

7月25日 丸森橋付近で 水生生物調査を 実施

7月25日、丸森橋下流で水生生物調査を実施しました。この調査は7月の河川愛護月間に毎年行っているものです。調査の結果、きれいな川に多く生息する、カワゲラやヘビトンボ、ナミウズムシなどを確認する事ができました。また、稚魚が泳いでいる様子も確認することができました。



川の中の石を
拾ってみよう

水生生物採取の様子



水生生物調査とは…

河川の水に含まれる、酸素量と水生生物には密接な関係があります。きれいな水ほど酸素量が多く、水生生物はそれぞれ自分に合った河川環境で生息しています。この性質を利用し、河川に生息している水生生物を調べ、その川の水のきれいさや汚れ具合を判断するのが『水生生物調査』です。



現場からの風景

採取した水生生物



ヒゲナガカワトビゲラ類



ナミウズムシ

ヘビトンボ

水生生物って??

河川の中には、魚類、水生昆虫類、貝類、ヒルやミミズの仲間など、さまざまな生きものが住んでおり、これらを【水生生物】といいます。

水生生物調査は、どなたでも行うことができます。
水辺に行った際は、下の表を参考に水生生物を探してみてもはいかがでしょうか！

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

ナミウズムシ
×5
実物大
耳状のヒゲが突起
また、体に縞線があるのも外来種
外来種
アメリカツウズムシ

ナミウズムシ
石の表面にはりついていて、押し縮みする中・下部には外来種がいることがある

ヒラタカゲロウ類
×2
実物大
平たい体
えら
尾は2本
流れの速い石の表面にはりついている

カワゲラ類
×2
実物大
つめは2本 (カゲロウは1本)
体ががんじょうな感じがする石の下やすき間にいる

サワガニ
×3
実物大
こらに丸み
甲は赤〜茶色 (クロスヘアビトンボは黒)
頭は赤〜茶色 (クロスヘアビトンボは黒)
強力な大あご
体色は赤色、茶色、青白色のものがある、同じ種類である

ハビトンボ
×2
実物大
馬伏のえら (クロスヘアビトンボはなし)
棒状の突起
流れの速い石の下にひそんでいて、えもをおそそう

アマカ類
×2.5
実物大
急流の岩や石に吸盤ではりついている集団をつくり、石が黒く見えることもある

アミカ類
×2.5
実物大
急流の岩や石に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている

ナガレトビケラ類
×3
実物大
×3
実物大
流れの速いところにいる

ヤマトビケラ類
×3
実物大
小さな石粒の巣
流れの少しゆるやかなところの石面に多い

ヨコエビ類
×2
実物大
第1触角の1/2以上
第2触角が第1触角の1/2
最も後ろの足が、その前の足より長い
最も後ろの足が、その前の足より長い

タニガワカゲロウ類
×1.5
実物大
尾は3本
平たい体
背中に1本の白いすじ
前足に長い毛の列
体はヒラタカゲロウ類に似ている流れの速いところにいる

I, II 両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水

カワリナ類
×0.5
実物大
か
一般の口が丸
×2
か
一般の口が丸
外来種
コモチカワツボネ

カワリナ類
流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボネは数mmと小型

ココニヤンマ
×2
実物大
平たい体
平たい体
流れが少しゆるやかなところにいる

ヒラタドロムシ類
×2
実物大
平たい体
石の表面にはりついている

チラカゲロウ
×2
実物大
前足に長い毛の列
背中に1本の白いすじ
流れのやや速いところにいる

ヒゲナガカワトビケラ類
×1.5
実物大
頭が細長い
左右に大きめの石粒をつけた巣
流れの速い石の間に網をはってえさを集める体色は茶〜黒色

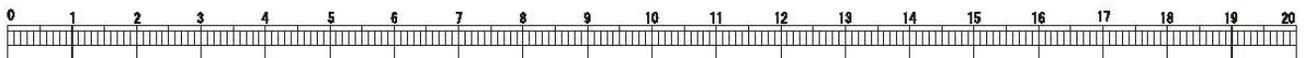
ニンギョウトビケラ類
×1.5
実物大
頭が長い
左右に大きめの石粒をつけた巣
流れが少しゆるやかなところの石面にいる

コガタシマトビケラ類
×3
実物大
×10
実物大
深い凹み
頭部の前縁に深い凹みがある

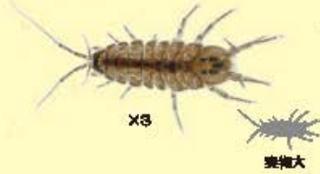
ゲンジボタル
×2
実物大
ぜんぜん ちやう 前脚の硬さが異なる
×2.5
実物大
×2.5
実物大
流れが少し速いところにいる

オオシマトビケラ
×2.5
実物大
流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

地味のあるところではきれいな水にもいる



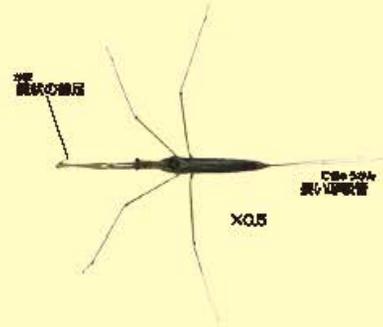
シマイシビル

河川の中にも見られるが、
川の中にも見られるが、
川の中にも見られるが、
川の中にも見られるが、



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川で川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

川の底にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの種類と違い、左側が
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

4本または2本のひも状のえらがある
見られるユスリカはセツユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

頭部、腹部背面にたいやん皮(キチン板)がある

汽水域(海水が混じっているところ)

Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や砂の中はにみついている
淡水域にもいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にもいる
淡水域にもマダマシジミや外葉の
タイワンシジミ*がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



ニホンドロロコエビ

池の上や中にもいる
川の上・中流にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが害菌類(水質汚染に使う水生生物)ではありません。

